

3 平成 30 年度 学校目標

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	<p>生徒の学習意欲を向上させ、(主体的な選択による学習とキャリア教育を通じて、将来の職業選択を視野に入れた、)自己の進路への自覚を深める教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。また、「プログラミング教育」を教科「情報」から導入し、「全教科」に波及させる。</p> <p>学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒が自ら学び、自ら考え、行動する意欲の促進を図る。</p>	<p>多様な生徒の進路希望に対応し、学習効果の向上を目指した教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。</p> <p>インクルーシブの視点をもって全ての生徒にとって学びやすい学習環境を整える。プログラミング教育研究推進校として、全校をあげたプログラミング教育の研究開発及びその成果をまとめ共有する。</p> <p>学校行事に関して生徒会や年次会、クラス単位で生徒自ら企画・運営するように指導し生徒の社会性を育む。</p>	<p>100分授業の中でより高い教育効果を上げることを目指した授業改善に努める。主体的、対話的で深い学びについて非常勤講師を含めた教員で情報共有し生徒主体の授業を実践する。また、ICTを効果的に活用し、「教材工夫」項目のポイントを向上させる。</p> <p>プログラミング教育についてすべての教科で学習指導案の研究開発とまとめに取り組む。</p> <p>学校行事や説明会を生徒主体で運営することができるように指導する。</p>	<p>100分授業で生徒主体の授業改善を目指した改善がなされ、主体的、対話的で深い学びについての手法やICTを取り入れる事ができたか。また学習方法・学習環境等全ての生徒にとって学びやすい学習環境への改善ができたか。</p> <p>教科でプログラミングの思考力を身に付けさせることを目指した授業を展開し成果をまとめることができたか。</p> <p>行事で生徒主体の取組を実施できたか。</p>
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>部活動の活性化を通して、責任感や連帯感の涵養を図る。</p> <p>生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図るとともに学校規律を継続させる。</p>	<p>魅力ある部活動となるよう支援し、加入率の向上や途中退部者の減少に努め、満足度を高める。</p> <p>支援教育についての理解を深め、生徒一人ひとりの困り感やニーズを把握、共有して支援し、課題の解決にあたる。</p>	<p>部活動の活性化を目指し、新入生歓迎会等を実施する。また、地域や保護者向け部活動見学日を設定し向上させると共に本校への活動への理解と満足度を高める。</p> <p>各年次会、企画会議、職員会議で生徒の情報を共有し、必要に応じて随時ケース会議を開くとともに、スクールカウンセラー(以下SC)を有効活用する。</p>	<p>さまざまな取組を実施し、加入率を向上させ生徒・保護者の満足度が高まったか。</p> <p>ケース会議等の取組が支援の必要な生徒の指導に生かせ、課題解決につながったか。</p>
3 進路指導・支援	<p>生徒が自らのキャリア発達を意識できる進路指導の充実を図る。</p>	<p>学校外の教育力を活用し、キャリア発達に配慮した段階的、系統的な進路指導の充実を図る</p>	<p>インターンシップや上級学校や企業、外部機関との連携を深め、効果的な進路ガイダンスを実施する。</p> <p>生徒の自己理解や進路意識を促進するために面談等を適切に実施する。</p>	<p>効果的な進路ガイダンスや面談を実施することができたか。</p>

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
4 地域等との協働	<p>地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。</p> <p>「プログラミング教育研究推進校」として、研究開発に取り組む。</p>	<p>地域や外部の教育力を活用し、また学校側からも発信し地域に信頼される学校づくりを進める。</p> <p>プログラミング教育研究推進校としてコンソーシアムを活用し研究開発を行い、その成果をまとめる。</p>	<p>授業や部活動、委員会活動など様々な場面をとらえて地域貢献活動や幼保小中学校との連携・積極的な交流を通じて、生徒の自己肯定感を高め、地域からの信頼を得る。</p> <p>プログラミング教育研究推進のため民間企業、大学、専門学校との協働研究に取り組み、その成果をまとめ外部へ情報発信する。</p>	<p>地域の教育力を効果的に活用することができたか。また学校や地域へ貢献することができたか。</p> <p>プログラミング教育研究推進を通して外部機関との協働研究の成果を外部に情報発信したか。</p>
5 学校管理 学校運営	<p>すべての職員が県立高校改革の実施を踏まえ、変化に迅速に対応し、前向きに課題に取り組む学校体制を構築する。</p>	<p>広報活動充実を図るためホームページ内容を工夫、掲示板を設置し、学校案内を充実させ、情報を積極的に発信する。</p> <p>県民から信頼される学校を目指し、事故・不祥事防止ゼロを達成に向けて、職員の自己管理能力を育成する。</p>	<p>学校案内の内容を精査し、より見やすくする。また、ホームページを行事ごとに更新し、情報発信の環境を整備し部活動のページを充実させる。</p> <p>グループや総括教諭を主体とした事故防止研修を実施、他の校内伝達講習のしくみを利用し教職員一人ひとりの内面化を図る。</p>	<p>わかりやすく、新鮮な内容の学校案内やホームページの更新ができたか。</p> <p>総括教諭を主体とした事故防止研修を実施し、教職員一人ひとりの内面化を図ることができたか。</p>